

# 令和6年度近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策の実施状況 概要【資料1】

## ▶ 施策の内容

【施策1】 近江の地場製品の**需要拡大**のための、新商品の開発に対する支援、情報の提供、新たな販路の開拓の促進等

【施策2】 近江の地場産業事業者等の**経営基盤強化**のための、経営改善および合理化、資金の供給の円滑化等

【施策3】 新商品開発等に係る**調査研究**、**多様な分野における事業展開**の促進

【施策4】 担い手となる人材の**確保**、**育成**、**資質向上**に対する支援、優れた**技術等の継承**の推進等

【施策5】 近江の地場産業および近江の地場製品に対する**関心および理解を深める**ための、普及啓発、多様な学習機会の提供等

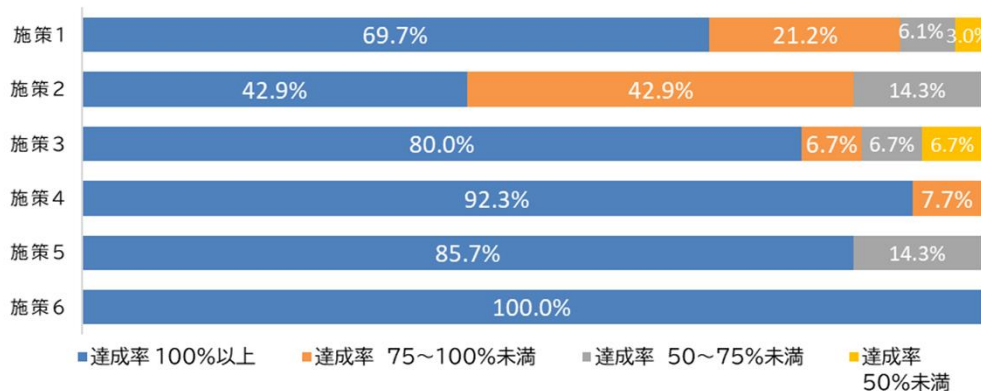
【施策6】 近江の地場産業および近江の地場製品に関する実態についての**定期的な調査**および分析

## ▶ 施策の事業数と決算額

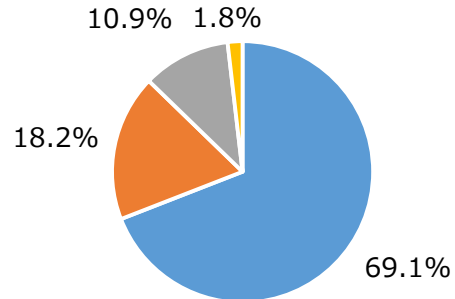
施策	事業数	決算額（千円）
施策1	48	1,916,680
施策2	10	23,393,378
施策3	16	1,396,179
施策4	19	1,295,438
施策5	12	354,112
施策6	1	12,189
合計	106	28,367,976

（同一の「施策の内容」内で再掲は除く）

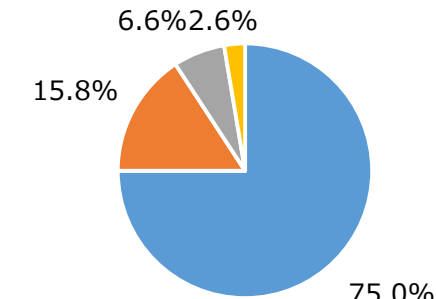
## ▶ 各事業における設定目標の達成状況



【令和5年度達成状況（合計）】



【令和6年度達成状況（合計）】



■ 100%以上 ■ 75~100%未満 ■ 50~75%未満 ■ 50%未満

## 【施策1】 近江の地場産品の**需要拡大**のための、新商品の開発に対する支援、情報の提供、新たな販路の開拓の促進等

### 近江の地域産業振興総合支援事業（通番5,28,81,106）

地場産業組合等が実施する海外の販路開拓、持続的発展に向けた後継者育成や国内での販路拡大等、ブランド力向上を目指した取り組みを支援

- ▶ 決算額 12,189千円（予算額 13,300千円）
- ▶ 実績

- ① 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を目的として行うブランド化推進に係るセミナー開催や専門家派遣、認知度向上に向けた情報発信等に対して支援

（取組み事例）

- ・ 首都圏での地場産業の魅力発信に向け、東京都において「近江の麻体験ワークショップ」を実施
- ・ 麻織物ニット製品のブランディングおよびプロモーションの推進支援に向けた専門家派遣



- ② 地場産業組合等9事業者が実施する国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組合に対して支援

（取組み事例）

- ・ 滋賀県麻織物工業協同組合（販路開拓） プルミエールビジョン（フランス）に出展
- ・ 滋賀県製薬工業協同組合（後継者育成） 製薬業に興味を有する学生を対象に製薬企業紹介フェアを開催



【施策2】 近江の地場産業事業者等の**経営基盤の強化**のための、経営改善および合理化、資金の供給の円滑化等

**地場産業生産性向上支援事業費補助金（通番54）**

地場産業組合、事業者および伝統的工芸品の製造事業者が新商品開発や品質向上、生産性向上のための生産設備を導入する費用に対する補助

▶ 決算額 34,969千円（予算額 40,000千円）

▶ 実績 交付申請：20件 交付決定：16件

（取組み事例）

- ・ 独自開発した染料の加工法とそれに適した機器の導入で、織るだけでインディゴ調に見えるデニム糸の生産
- ・ 目視検査からカメラ検査導入による、省人化と品質向上

・ **設備の導入事例**

織機

マシニングセンタ 等

## 【施策3】 新商品開発等に係る調査研究、多様な分野における事業展開の促進

### 地場産業「近江のデザイナー」マッチング事業（通番33,72,82）

県地場産業事業者と専門家（近江のデザイナー）のマッチング、伴走支援および製品開発等に要する経費の一部を助成することで地場産業等の製品開発・販路開拓を継続的・発展的に支援

- ▶ 決算額 7,683千円（予算額 8,900千円）
- ▶ 実績
  - ・ 商品開発や販路開拓に取り組んだ件数 6件（目標値 6件）

## 【施策4】 担い手となる人材の確保、育成、資質向上に対する支援、優れた技術等の継承の推進等

### 地場産業・伝統的工芸品魅力発信ベース検討事業（通番3,91,94,100）

○県および国指定の伝統的工芸品の展示・販売・実演を含む体験会を開催。

開催期間：①10月1日～10月14日 ②10月17日～10月30日 ③11月2日～11月15日

開催場所：①BIWAKO PICNIC BASE（長浜市） ②伊吹薬草の里文化センター（米原市）

③新旭駅西ショッピングセンターエスパ（高島市）

事業者：長浜縮緬、近江上布、信楽焼、高島扇骨、彦根仏壇、網織紬、草木染手組組紐、鼻緒、輪奈ビロード、（再興）湖東焼、上丹生木彫、木珠（高級木製数珠玉）、愛知川びん細工手まり、江州よしすだれ（12者）

- ▶ 決算額 8,999千円（予算額 9,000千円）
- ▶ 実績
  - ・ 「周知を図ることができた」と感じた出展事業者の割合 91.7%（目標値 80%）

## 【施策5】 近江の地場産業および近江の地場産品に対する関心および理解を深めるための、普及啓発、多様な学習機会の提供等

### 地場産業・伝統的工芸品次世代魅力体験事業（通番89,98）

地場産業、伝統的工芸品に対する興味・関心・共感の醸成を図り、将来の担い手（作り手、支え手、買い手）となる人材の育成・確保につなげることを目的に、県内小学校が地場産業や伝統的工芸品製造者で行う体験学習等に要する経費の一部を支援

- ▶ 決算額 1,058千円（予算額 2,000千円）
- ▶ 実績
  - ・ 学校と事業者が連携して体験学習等を行った件数 19件（目標値 10件）

## 【施策6】 近江の地場産業および近江の地場産品に関する実態についての定期的な調査および分析

- ▶ 実績
  - ・ 滋賀県公式LINEアカウントによるアンケート調査を実施 回答数4,191人（対象者258,933人）

# 地場産業「近江のデザイナー」マッチング事業

## 【地場産業の現状】

県内地場産業事業者は、優れた技術を保有していながら、事業者規模の小ささから新たな販路開拓に必要なノウハウやネットワークを有しておらず、効果的な取り組みを自ら実施することができない状況にある。

## 【目的】

地場産業事業者と専門家（近江のデザイナー）のマッチングおよび伴走支援を行うことで、継続的・発展的な製品開発・販路開拓を促進する。

## 【事業内容】

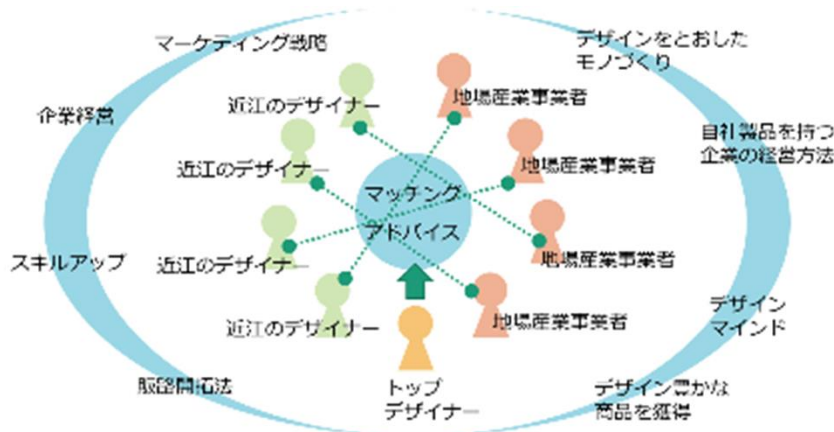
(1) 「近江のデザイナー」マッチング委託事業 予算額：6,300千円

- ・地場産業事業者と近江のデザイナーのマッチングを実施
- ・企画開発の経験をもつ専門家（トップデザイナー）による商品開発・販路開拓の伴走支援
- ・商品開発・販路開拓を具現化するための知識やノウハウ習得を目的に、地場産業事業者、近江のデザイナーの両者に対し、講習会、ワークショップ、フィールドワークを実施

(2) 「近江のデザイナー」地場産業販路開拓支援補助事業 予算額：1,800千円

- (1)の事業に参画する地場産業事業者に対し、近江のデザイナーと取り組む製品開発・販路開拓事業に係る費用を補助。  
補助率：1/2 上限額：300千円

## 【事業イメージ】



## 【事業効果】

- ・滋賀県および近江の地場産業をよく知り、地場製品の製品開発や販路開拓を効果的にプロデュースできる専門家が誕生する。
- ・近江のデザイナーとの継続した関係性により、参画地場産業事業者の製品開発や販路開拓が継続・発展して取り組まれる。
- ・本事業での取り組みが横展開され、参画地場産業事業者以外の地場産業事業者の製品開発や販路開拓も促進される。

## 【近江のデザイナーとは】

近江のデザイナーとは、地場産業事業者の製品開発・販路開拓を継続的・発展的に支援する「支え手」として、滋賀県を拠点とし、滋賀県の歴史や文化、風土、環境なども含めて、地場産業の状況をよく理解し、効果的なプロデュースを行うことのできる専門家のことをいう。

# 地場産業「近江のデザイナー」マッチング事業

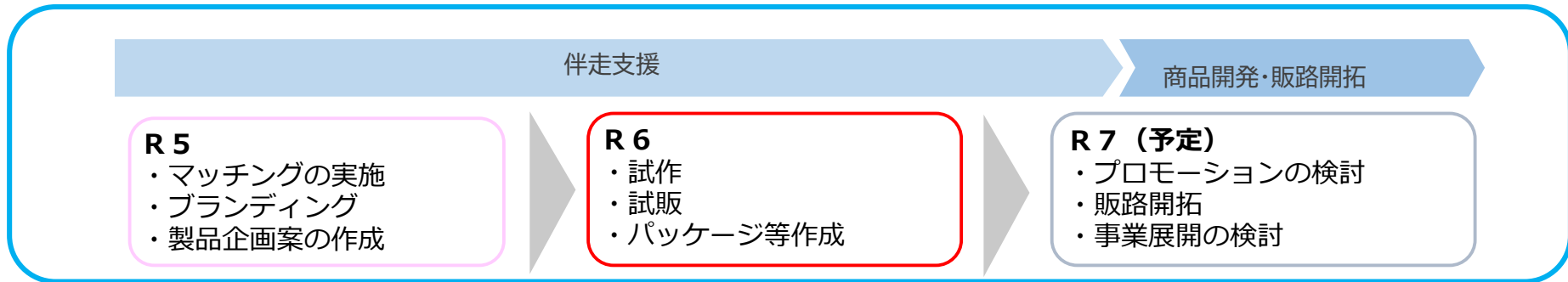
## 【事業者実施者】

事業受託者 株式会社A Tパートナーズ 松井氏（トップデザイナー）※、村瀬氏  
本件事業選定デザイナー 高杉氏、南氏、宮永氏

※松井 龍哉 略歴

1991 日本大学芸術学部卒業  
1991-1996 丹下健三・都市・建築設計研究所員  
2000 ヒューマノイドロボットのSIG、PINOのデザインを手がけグッドデザイン賞を受賞  
2007-2014 日本産業デザイン振興会（グッドデザイン賞 審査委員）  
2014 松井デザインスタジオを設立  
2022-現在 にいがた産業創造機構（NICO） 100年物語 デザインアドバイザー

## 【事業スキーム内容】



## 【令和6年度実施結果】

- ・地場産業・伝統的工芸品事業者と近江のデザイナーによる試作
- ・地場産業事業者、近江のデザイナーの両者に対し、講習会（7回）、ワークショップ（8回）、フィールドワーク（3回）を実施
- ・SNSや情報誌（フリーペーパー BS TIMES）による情報発信



# 地場産業・伝統的工芸品魅力発信ベース検討事業

## 【施策の目的】

・地場産業・伝統的工芸品魅力発信拠点の設置により、担い手（作り手、支え手、買い手などの関係者）の育成・確保につなげる。

## 【現状と課題】

地場産業・伝統的工芸品について、歴史・文化を有し、地域経済や生活を支えてきたが、近年では、後継者不足や売上不振により衰退の一途を辿っている。地域独自の製法・技法を活かした施策と県内外への魅力の発信・認知を促進させ、後継者の確保や売上につながる担い手の育成・確保を図る取組が必要である。

## 【施策概要】

・県北部地域に地場産業・伝統工芸品の展示・販売・実演、製造工程等の体験できる拠点を期間限定で試行的に設置し、これらの成果を分析し、令和7年度以降の本格的な拠点整備（既存施設を活用）に向けた検討を進める。

## 【施策効果】

- 今までになかった地場産業・伝統的工芸品の拠点を設置することで、話題性とPR効果を高められ、県内外への魅力発信の場として活用できる。
- 常設での展示の加え、体験ができる場所としての活用により、地場産業・伝統的工芸品を知る機会・触れる機会が増え、担い手の育成・確保につながる。また、販売拠点としても活用できるため、販路開拓や売上にもつながり、事業展開の幅も広げられる。

## 実施イメージ（先進モデルより）

伝統産業ミュージアム【京都市】  
（京都市左京区）



(体験)



伝統工芸 青山スクエア  
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS AOYAMA SQUARE

(販売)

青山スクエア【(一社) 伝統的工芸品産業振興協会】  
（東京都港区）

# 地場産業・伝統的工芸品魅力発信ベース検討事業実績

開催期間、場所、参加数：

- ①10月 1日～10月14日 BIWAKO PICNIC BASE（長浜市）、1,669名
- ②10月17日～10月30日 伊吹薬草の里文化センター（米原市）、809名
- ③11月 2日～11月15日 新旭駅西ショッピングセンターエスパ（高島市）、1,454名

**旅する滋賀のモノづくり展 2024**

入場料 無料

長浜	10.1(水)・14(祝)	BIWAKO PICNIC BASE 〒250-0204 長浜市北浜1-1-1 10:00-16:00
米原	10.17(土)・30(日)	伊吹薬草の里文化センター 〒520-0204 米原市伊吹薬草の里1-1-1 10:00-17:00
高島	11.2(土)・15(日)	新旭駅西ショッピングセンターエスパ 〒920-0201 高島市新旭1-1-1 10:00-17:00

**親子キッズ/お楽しみワークショップ**  
 10月14日(祝) 10:00-12:00  
 10月17日(土) 10:00-12:00  
 10月30日(日) 10:00-12:00  
 11月2日(土) 10:00-12:00  
 11月15日(日) 10:00-12:00

**わくわくスタンプラリー**  
 10月14日(祝) 10:00-12:00  
 10月17日(土) 10:00-12:00  
 10月30日(日) 10:00-12:00  
 11月2日(土) 10:00-12:00  
 11月15日(日) 10:00-12:00

**出展内容**  
 伝統的工芸品の展示・販売  
 体験型ワークショップ  
 地域産品の販売



R 7 開催予定  
 平和堂あどがわ店、モンデクール長浜

## 【近江の地場産業および近江の地場産品の振興功労者表彰】

近江の地場産業および近江の地場産品の振興を図るため、長年にわたり近江の地場産業および近江の地場産品の振興に寄与され、その功績が得に顕著で他の模範となり個人または団体に対し、その功績を称えて表彰するもの。

## 【表彰の対象となる取組】

- ①需要の拡大
- ②経営基盤の強化
- ③新商品の開発、新たな販路の開拓および多様な分野における事業の展開
- ④担い手人材の確保、育成および資質の向上、優れた技術等の継承 ※「長年」とは概ね5年以上

## 【これまでの受賞者（直近3年間）】

年度	氏名・団体名	取組内容
R05	推薦者なし	
R04	高原 誠治	産地内外での催事やイベントでの製作実演や指導を実施。他産地からの工房見学なども柔軟に受け入れるなど、信楽焼の担い手人材の確保、後継者育成、技術等の伝承に貢献。
	グリーン近江農業協同組合 日野菜生産部会	作付面積・生産量拡大支援・ブランド化に向けたPRの強化に取り組んだ結果、令和3年度には8.6ヘクタール、栽培農家60戸にまで復興。令和4年10月21日「近江日野産日野菜」が「GI（地理的表示）」認定。
	滋賀県酒造組合	「滋賀地酒1万人プロジェクト」を始め、近江の地酒を広く普及するために「地酒の祭典in東京」「地酒の祭典in大津」といったイベントを開催し、ファン獲得および需要の拡大に尽力。令和4年4月13日には「滋賀」（清酒）が「GI（地理的表示）」認定。
R03	滋賀バルブ協同組合	新素材ビワライトの研究開発と新たな販路開拓の取り組み
	伝承工芸愛知川 びん細工手まり保存会	県指定伝統的工芸品「愛知川びん細工手まり」の担い手人材確保、後継者育成および伝統的な技法の継承

# 報告 「令和6年度近江の地場産業および近江の地場製品の振興功労者表彰」

【日時】 令和7年（2025年）1月29日（水）10:00～10:30

【場所】 滋賀県公館（大津市京町四丁目2-15）

氏名・団体名	取組内容
中村 正博	「サステナブルな素材「琵琶の葦布」の開発」についての取り組み
川澄 一司	透光性陶磁器「信楽透器」の開発」についての取り組み

